

クラス番号	223	ゼミタイプ	エクスカッション型
		担当教員名	安田 華子
テーマ	乳児期から青年期までの子どもに必要な支援を考える		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

児童養護施設や自立援助ホームなどの児童福祉施設職員(以下、職員)は、0歳から18歳までの子どもに対して支援を行います。また近年では、職員は幅広い年齢の子どもの支援だけでなく、保護者支援等の必要性が叫ばれており重要な役割を担っています。幅広い年齢の子どもや保護者への支援を行うために、子どもの発達段階はもちろん、個々が持つ問題や課題についても目を向けていくことが必要となります。

そこで、このゼミでは、それぞれのライフステージに起こる可能性のある、問題の原因について考えていきます。グループワークを行い、ライフステージに起こる問題の原因や解決策を考えていきます。考えた原因や支援等を、プレゼンテーションを通して、他の学生に発表し討論していきます。

職員の仕事の多様性や、子どもと保護者に寄り添い支援を行うために必要なことを学び、少しでも多くの知識と技術を身につけることを目的とします。そのため、フィールドワーク(例：児童養護施設、自立援助ホーム等)に出かけ、児童福祉施設の役割や職員の業務に対する理解を深めていきます。

また、グループワークやプレゼンテーション、レポート作成をとおして他者に伝わる文章を作成することで文章能力の向上を目指します。

授業計画：

詳細は未定ですが、以下のような内容で進めていく予定です。

1. ゼミ生同士が交流を深め、コミュニケーションが図れるように、グループワークを取り入れていきます。
2. グループごとにプレゼンテーションを行い、その後の子どもや保護者について討論を行います。
3. 関心のあるライフステージをグループごとで、事前学習を行います。
4. グループごとでプレゼンテーションを行います。
5. グループごとでフィールドワーク(例：保育所、児童養護施設、自立援助ホームなど)に出かけます。
6. フィールドワークで学んだことを、それぞれまとめプレゼンテーションを行います。
7. フィールドワークで学んだことを、レポートとしてまとめます。

※フィールドワークは、名古屋市、半田市、東海市などを想定していますので交通費がかかります。

担当教員からのメッセージ



私は保育所や自立援助ホームで子どもや保護者に関わってきました。その他にも、子育て支援や学童保育など、子どもに関わる様々な場所に関わってきました。

プライベートでは、小学校に通う2人のわんぱくな男の子の育児に奮闘中です。

また、グループワークを中心に、自分で考えることや他者の言葉を聞くこと、文章としてまとめること、発表することに慣れると同時に、自己理解・他者理解を深められるように実践していきます。

ゼミに主体的に取り組み、将来、児童養護施設などの児童福祉施設に就職を考えている学生を歓迎します。自分の思いを自由に発言ができ、何でも話すことができる温かい場所にしたいと考えています。